

株式会社北海道ジェイ・アール商事 事業年表

年 度	ジェイ・アール商事の出来事	主な決算の推移
1987 (昭和62)年	～～国鉄の分割民営化～～	
1988 (昭和63)年	北海道ジェイ・アール・リース(株)設立	
1990 (平成2)年	地方銀行への資本増強資金協力を実施(500億)(貸付残高 500億) グループ外企業へ初出資	
1991 (平成3)年	(株)北海道ジェイ・アール商事設立 地方銀行への資本増強資金協力を実施(150億)(貸付残高 650億)【(旧)リース】	
1992 (平成4)年	「建設業」の認可取得【(旧)商事】 地方銀行への資本増強資金協力を実施(115億)(貸付残高 765億)【(旧)リース】	
1996 (平成8)年	旭川営業所開設【(旧)商事】 グループ外企業へ初融資【(旧)リース】	
1997 (平成9)年	上記2社が合併し、社名を(株)北海道ジェイ・アール商事とする	
1998 (平成10)年	● 大型保線用車両(マルチプルタイタンバ)をJRより買い取り、リース開始 ● マルチプルタイタンバの新車を購入し、リース開始(外貨(ユーロ)為替取引の開始)	売上高140億円台計上
1999 (平成11)年	地方銀行への資本増強資金協力を実施(100億)(貸付残高 465億) 新規事業(「環境機器」の販売、物品賃貸(レンタル))へ参入 地方銀行への資本増強資金協力を実施(300億)(貸付残高 635億) 札幌駅南口開発(株)への出資	
2000 (平成12)年	地方銀行への資本増強資金協力を実施(50億)(貸付残高 685億) 旭川営業所閉鎖	
2001 (平成13)年	● M&Aによりスクラップ事業へ本格参入	経常利益1億円台計上
2002 (平成14)年	● CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)事業開始 ● 第1段階 プーリングシステム開始 ● 札幌市山口斎場のPFI事業に参画 ● JR資材契約業務を当社へ移管開始	経常利益2億円計上
2003 (平成15)年	● CMS第2段階 ネットティングシステム開始	経常利益3億円台計上
2004 (平成16)年	JR北海道の100%子会社化 ● JR資材契約業務を移管完了 ● CMS第3段階 支払代行システム開始	売上高160億円台計上 経常利益3.5億円計上

年 度	ジェイ・アール商事の出来事	主な決算の推移
2005 (平成17)年	● 首都圏における大型リース案件本格取組開始	
	● グループ会社債権買取ビジネスの開始	
	地方銀行への資本増強資金協力を実施(280億)(貸付残高 280億)	
2006 (平成18)年	JR北海道及びその100%子会社による連結納税適用開始	
	● 大型保線用車両(レール削正車)の新車を購入し、リース開始(外貨(スイスフラン)為替取引の開始)	経常利益4億円計上
2007 (平成19)年	●● 新幹線工事関係商材の納品を開始(販売・リース)	
2008 (平成20)年	● 資源環境部設置、リースアップ物件のリサイクル&リユースへの取組開始	
	地方銀行への資本増強資金協力を実施(150億)(貸付残高 430億)	
2009 (平成21)年	● 保線用車両(マルチプルタイタンバ)の購入選択権付リース取組開始	
2010 (平成22)年	資本金を5億円とする	
	● エコ製品の取扱開始	売上高180億円台計上 経常利益4.5億円台計上
2011 (平成23)年	● 北海道東京事務所のPPP事業に参画(共有)	売上高250億円台計上 経常利益5億円台計上
2012 (平成24)年	● 省エネルギー設備導入によるESCO事業開始	
	● SPC(特定目的会社)を利用した不動産営業投資事業に参加	
	● 自治体への入札による資材納入	売上高300億円台計上
2013 (平成25)年	● PPP事業による「永田町ほっかいどうスクエア」ビル竣工及び不動産賃貸業の開始	
	● 東京営業所開設	売上高450億円台計上
2014 (平成26)年	資本金を8億円とする	
	● スクラップ事業の鉄屑の在庫販売方式を見直し、直販売とする	
	監査室設置	

凡例

- ・・・金融事業部
- ・・・販売営業本部
- ・・・CMS部
- ・・・資源環境部